

1. 構造名：

換気スリット・両面化粧有機質系繊維混入セメント板表張／木製下地軒裏

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目	申請仕様
軒の出	1000mm以下
軒の幅	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
軒の形状	勾配又は水平

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
被覆材	<p>材料：両面化粧有機質系繊維混入セメント板</p> <p>組成：</p> <p>セメント質原料 70(±7)質量%</p> <p>無機質混和材 22(±7)質量%</p> <p>有機質繊維 6(±2)質量%</p> <p>有機質混和材 2(±1)質量%</p> <p>但し、</p> <p>セメント質原料：セメント、けい酸質原料等</p> <p>無機質混和材：パーライト、マイカ等</p> <p>有機質繊維：パルプ、合成繊維等</p> <p>有機質混和材：パルプ粉等</p> <p>塗料(表裏面)</p> <p>材料：1)～6)の一</p> <p>1)アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>2)アクリル樹脂系塗料</p> <p>3)アクリルシリコン樹脂系塗料</p> <p>4)ふっ素樹脂系塗料</p> <p>5)エポキシ樹脂系塗料</p> <p>6)ポリシロキサン樹脂系塗料</p> <p>塗布量：表裏面合計350g/m²以下(有機固形分量)</p> <p>密度：0.9(-0.1)g/cm³以上</p> <p>形状：</p> <p>1)表面形状</p> <p>厚さ：12～25(±1)mm</p> <p>幅：455mm以上</p> <p>2)断面形状(図6参照)</p> <p>最低板厚(中実部)：10mm以上</p> <p>容積欠損率(模様深さ)：8.8%以下</p> <p>(但し、板厚12mmを超える場合は裏面から12mmの位置での欠損率とする)</p> <p>3)表面の形状：①～④の一</p> <p>①平滑</p> <p>②平滑・溝加工</p> <p>③エンボス</p> <p>④エンボス・溝加工</p>
野縁	<p>材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材</p> <p>断面寸法：30×30mm以上</p> <p>取付間隔：500mm以下</p>
吊り木	<p>材料：①又は②</p> <p>①なし</p> <p>②日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材</p> <p>断面寸法：30×30mm以上</p> <p>取付間隔：500mm以下(軒出方向)</p>

つづく

つづき

換気スリット材 (図8参照)	<p>材料：①～⑩の一</p> <p>①冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) ②熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) ③耐海水ステンレス鋼 化学成分(質量%)： C ≤0.020 Si ≤0.80 Mn ≤1.00 P ≤0.030 S ≤0.015 Ni 17.00～19.50 Cr 19.00～21.00 Mo 5.50～6.50 N 0.16～0.24 Cu 0.50～1.00</p> <p>④高耐錆性ステンレス鋼 化学成分(質量%)： C ≤0.010 Si ≤1.00 Mn ≤1.00 P ≤0.040 S ≤0.007 Ni ≤0.60 Cr 22.00～23.00 Mo 1.50～2.50 N ≤0.020 Nb+Ti ≥16(C+N)</p> <p>⑤溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ⑥溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ⑦溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ⑧塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) ⑨ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウム及びアルミニウム合金板は除く) ⑩溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069及び0070) 厚さ：0.4mm以上</p> <p>塗料(表裏面)</p> <p>・上塗材：①～⑧の一</p> <table border="0"> <tr> <td>①ポリエステル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：300(+40) μm以下</td> </tr> <tr> <td>②エポキシ系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>③エポキシポリエステル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>④アクリル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑤アクリルウレタン系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑥ポリウレタン系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑦ウレタン系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑧ふっ素系樹脂塗料</td> <td>塗厚：150(+20) μm以下</td> </tr> </table> <p>・下塗材：①～⑥の一</p> <table border="0"> <tr> <td>①なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②ウレタン系樹脂塗料</td> <td>塗厚：50(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>③エポキシ系樹脂塗料</td> <td>塗厚：50(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>④アクリル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：50(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑤エポキシポリエステル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：50(+20) μm以下</td> </tr> <tr> <td>⑥ポリエステル系樹脂塗料</td> <td>塗厚：50(+20) μm以下</td> </tr> </table> <p>総塗厚：300(+40) μm以下</p> <p>換気孔の大きさ(1孔あたり)：5.2(±1)mm×13(±2)mm以下(面積0.68cm²以下) 換気孔間隔：3(±1)mm以上 換気孔面積：164.4cm²/m以下</p>	①ポリエステル系樹脂塗料	塗厚：300(+40) μm以下	②エポキシ系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	③エポキシポリエステル系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	④アクリル系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	⑤アクリルウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	⑥ポリウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	⑦ウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	⑧ふっ素系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下	①なし		②ウレタン系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下	③エポキシ系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下	④アクリル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下	⑤エポキシポリエステル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下	⑥ポリエステル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下
①ポリエステル系樹脂塗料	塗厚：300(+40) μm以下																												
②エポキシ系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
③エポキシポリエステル系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
④アクリル系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
⑤アクリルウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
⑥ポリウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
⑦ウレタン系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
⑧ふっ素系樹脂塗料	塗厚：150(+20) μm以下																												
①なし																													
②ウレタン系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下																												
③エポキシ系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下																												
④アクリル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下																												
⑤エポキシポリエステル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下																												
⑥ポリエステル系樹脂塗料	塗厚：50(+20) μm以下																												

つづく

つづき

換気スリット材	熱発泡材	材料：グラファイト系 組成： 膨張黒鉛 30(±10)質量% 粉末充てん材 20(±10)質量% ゴムバインダー 15(±10)質量% 耐熱性繊維類 20(±10)質量% 難燃剤・ゴム薬品等 15(±10)質量% 寸法：2.3(-0.3)×8mm以上
エンドキャップ		材料：①又は② ①ABS樹脂 厚さ：1.5mm以下 ②なし
位置		仕様：①、②又は③ ①壁側 ②鼻隠し側 ③中間

4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
目地部材 (図9参照)	<p>材料：①、②又は③</p> <p>①突付け目地</p> <p>②金属ジョイナー</p> <p>ジョイナーの材質：1)～7)の一</p> <p>1) 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)</p> <p>2) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)</p> <p>3) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321)</p> <p>4) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>5) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</p> <p>6) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</p> <p>7) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069及び0070)</p> <p>厚さ：0.25mm以上</p> <p>形状：H形又はT形</p> <p>塗料(あり又はなし)：1)～7)の一</p> <p>1) アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>2) アクリル樹脂系塗料</p> <p>3) アクリルシリコン樹脂系塗料</p> <p>4) ふっ素樹脂系塗料</p> <p>5) エポキシ樹脂系塗料</p> <p>6) ポリシロキサン樹脂系塗料</p> <p>7) ポリエステル樹脂系</p> <p>塗布量：300g/m²以下(有機固形分量)</p> <p>③本実・合いじゃくり目地</p> <p>端部形状(外装材相互の重なりと隙間、図8参照)</p> <p>重なり：6mm以上、隙間：3mm以下</p> <p>・目地部防水材</p> <p>材料：1)又は2)</p> <p>1) なし</p> <p>2) 合成ゴム</p> <p>使用量：5g/m以下</p>
受材	<p>材料：日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材又は下地用集成材</p> <p>断面寸法：30×40mm以上</p> <p>取付間隔：455mm以下</p>
留付材	<p>換気スリット固定用：</p> <p>材料：タッピンねじ</p> <p>材質：1)又は2)</p> <p>1) 冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-2)</p> <p>2) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315)</p> <p>寸法：呼び径φ3.6×28(-1)mm以上</p> <p>留付間隔：455mm以下</p>

つづく

つづき

留付材	被覆材固定用： 材料：①、②又は③ ①リングくぎ ②スクリューくぎ 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：胴部径φ2.3×長さ38mm以上 ③タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：呼び径φ2.0×25mm以上 留付間隔：227mm以下
	野縁固定用(たるきへの固定)： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N75以上 ②くぎ 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：胴部径φ2.75×長さ75mm以上 ③タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：呼び径φ2.5×40mm以上 留付間隔：500mm以下
	野縁固定用(鼻隠し下地への固定)： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②くぎ 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 ③タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：呼び径φ2.5×40mm以上 留付間隔：500mm以下

つづく

つづき

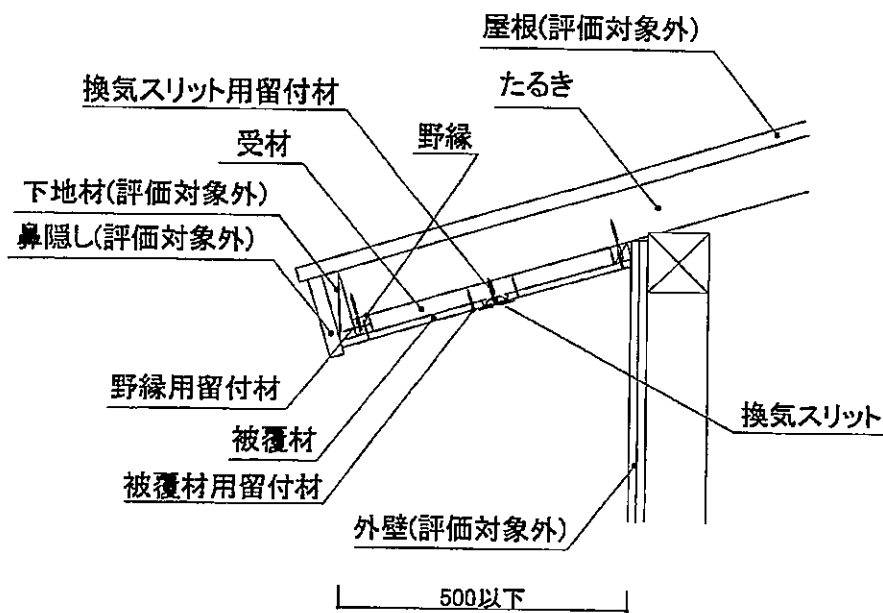
留付材	吊り木固定用(吊り木を用いる場合) : 材料 : ①、②又は③ ①リングくぎ ②スクリークぎ 材質 : 1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法 : 胴部径φ2.3×長さ50mm以上 ③タッピンねじ 材質 : 1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法 : 呼び径φ2.0×45mm以上 留付間隔 : 227mm以下
-----	---

5. 申請仕様の構造説明図 :

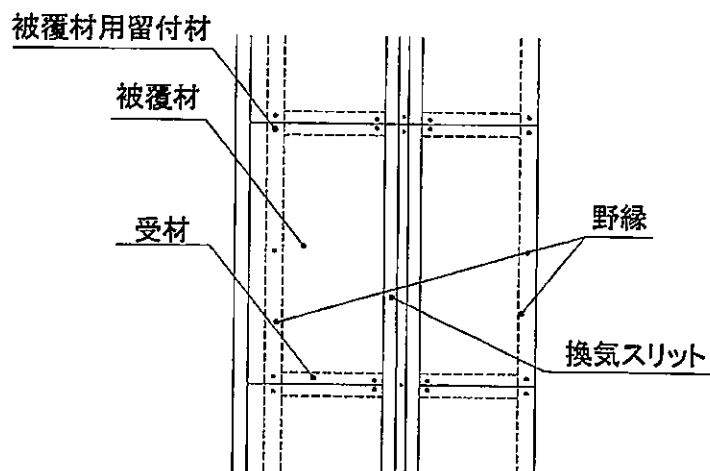
申請仕様の構造説明図を図1～図9に示す。

被覆材勾配
軒の出(被覆材長さ)が500mm以下の場合

単位 mm



軒部詳細図

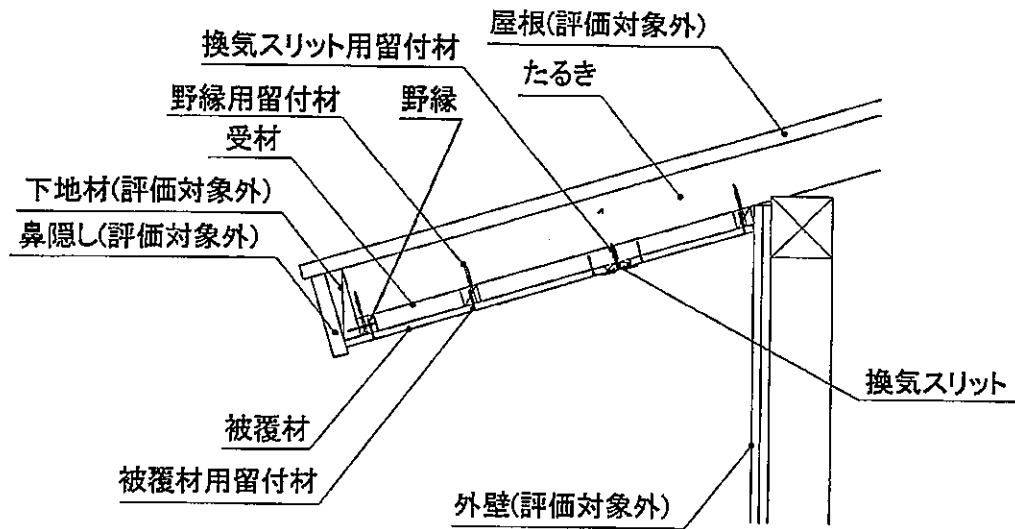


被覆材平面図

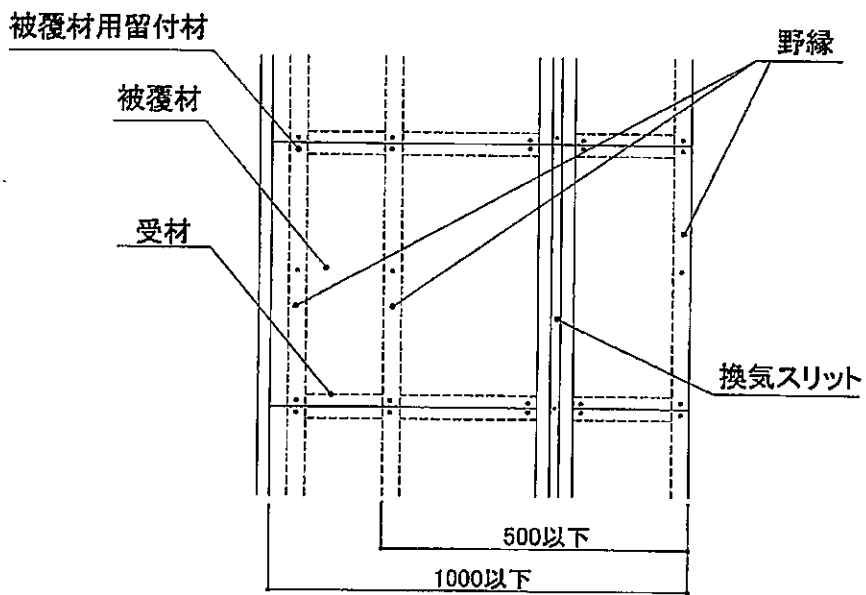
図1 構造説明図

被覆材勾配
軒の出(被覆材長さ)が500~1000mm以下の場合

単位 mm



軒部詳細図

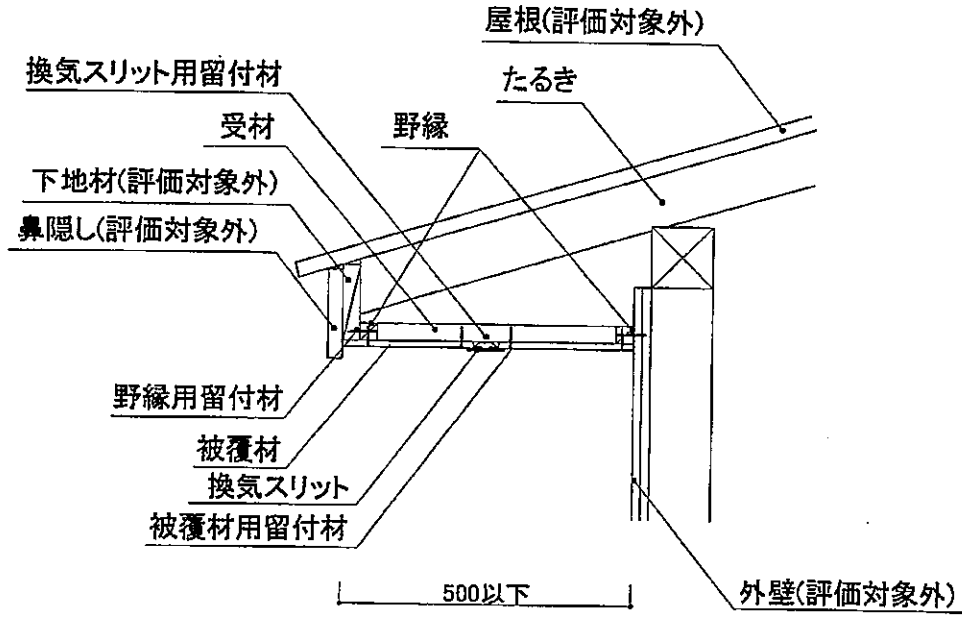


被覆材平面図

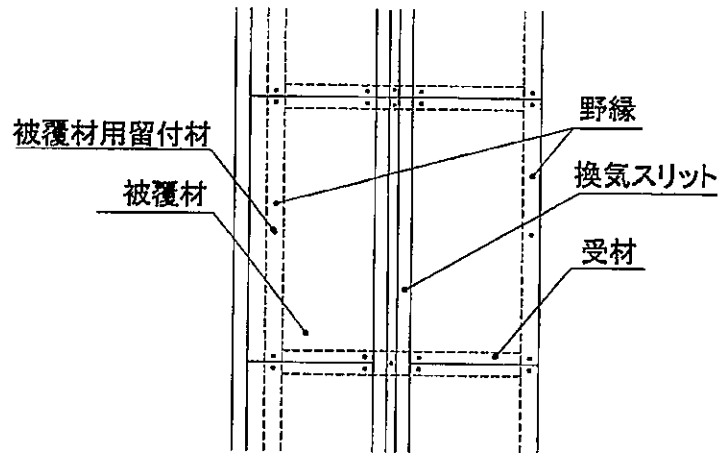
図2 構造説明図

被覆材水平
軒の出(被覆材長さ)が500mm以下の場合

単位 mm



軒部詳細図

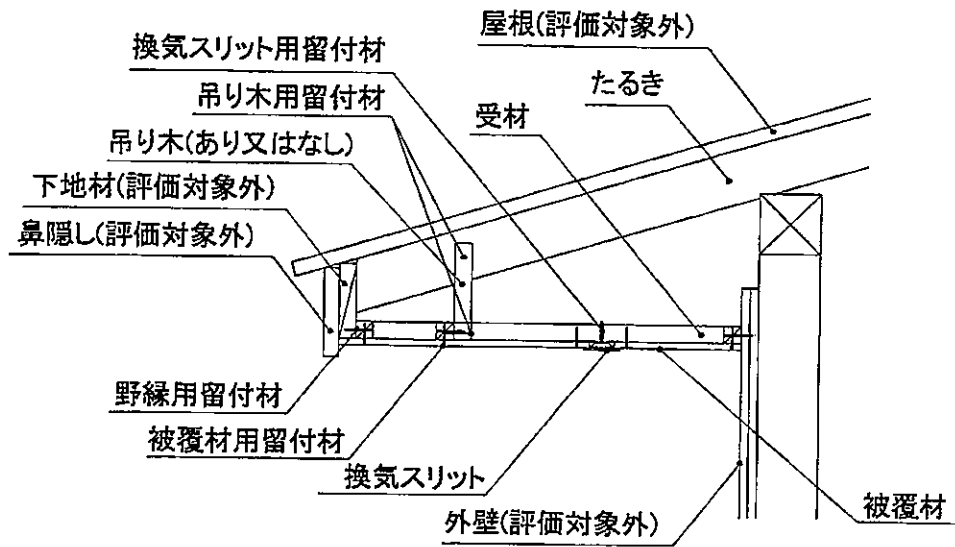


被覆材用平面図

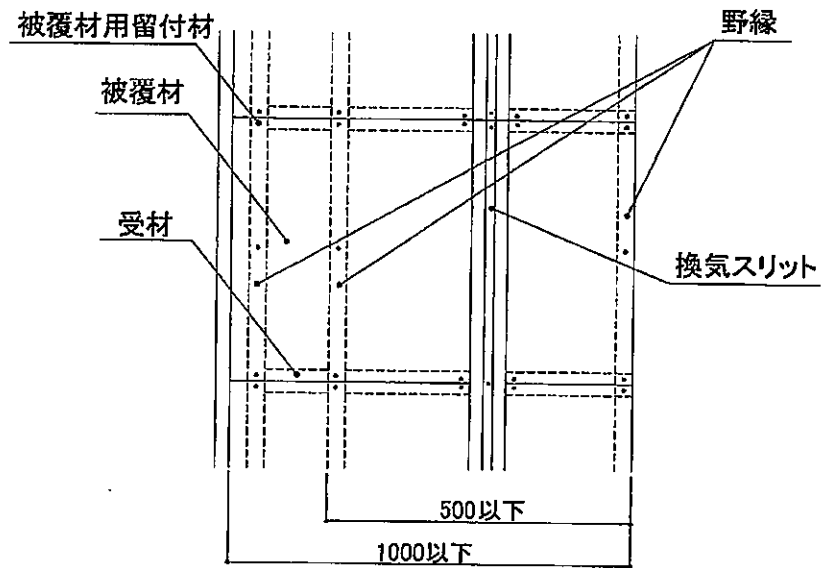
図3 構造説明図

被覆材水平、野縁梯子組
 軒の出(被覆材長さ)が500~1000mm以下の場合

単位 mm

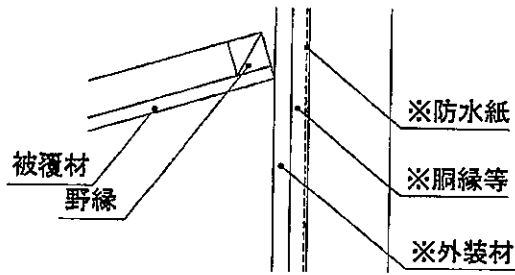


軒部詳細図

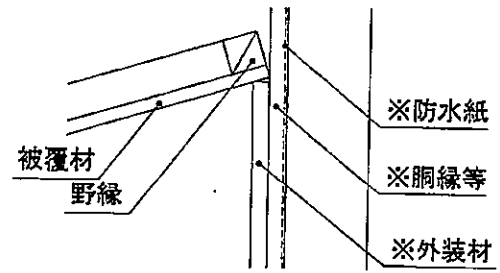


被覆材平面図

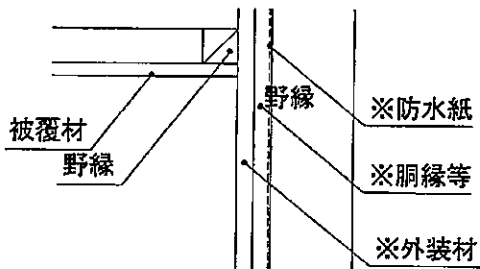
図4 構造説明図



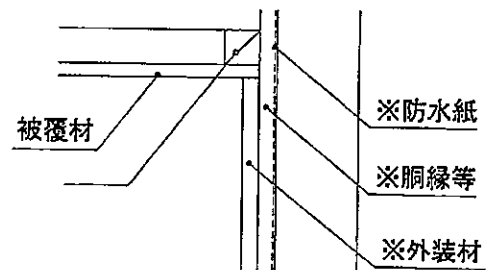
①被覆材勾配、外壁材勝ちの場合



②被覆材勾配、被覆材勝ちの場合



③被覆材水平、外壁材勝ちの場合

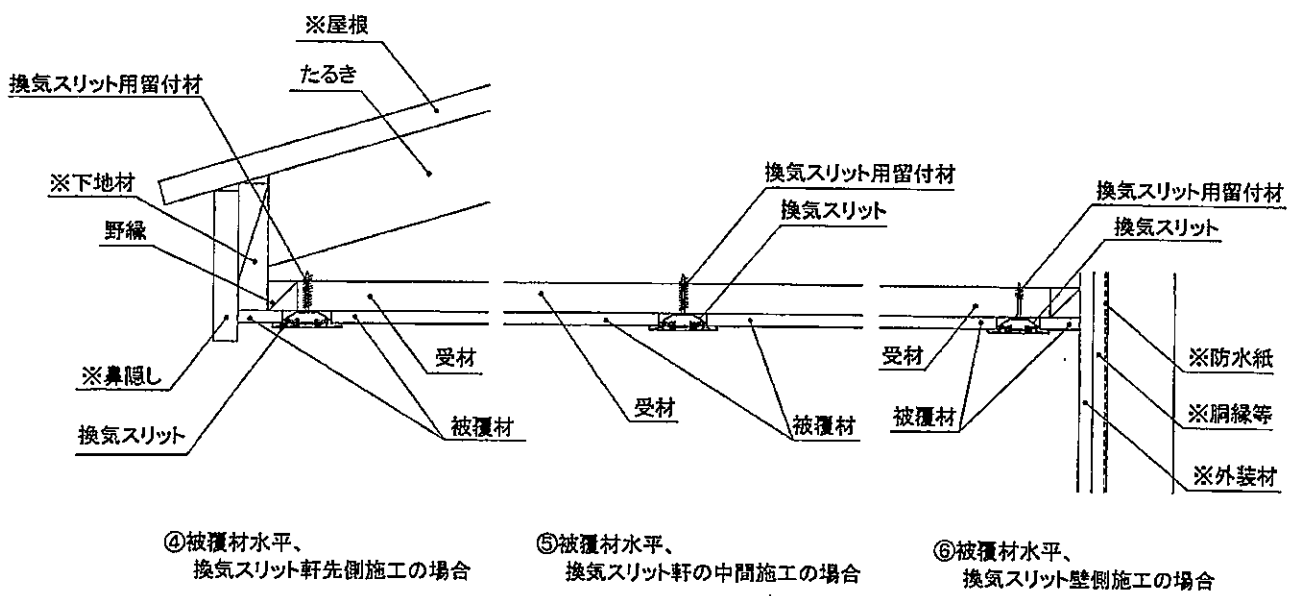
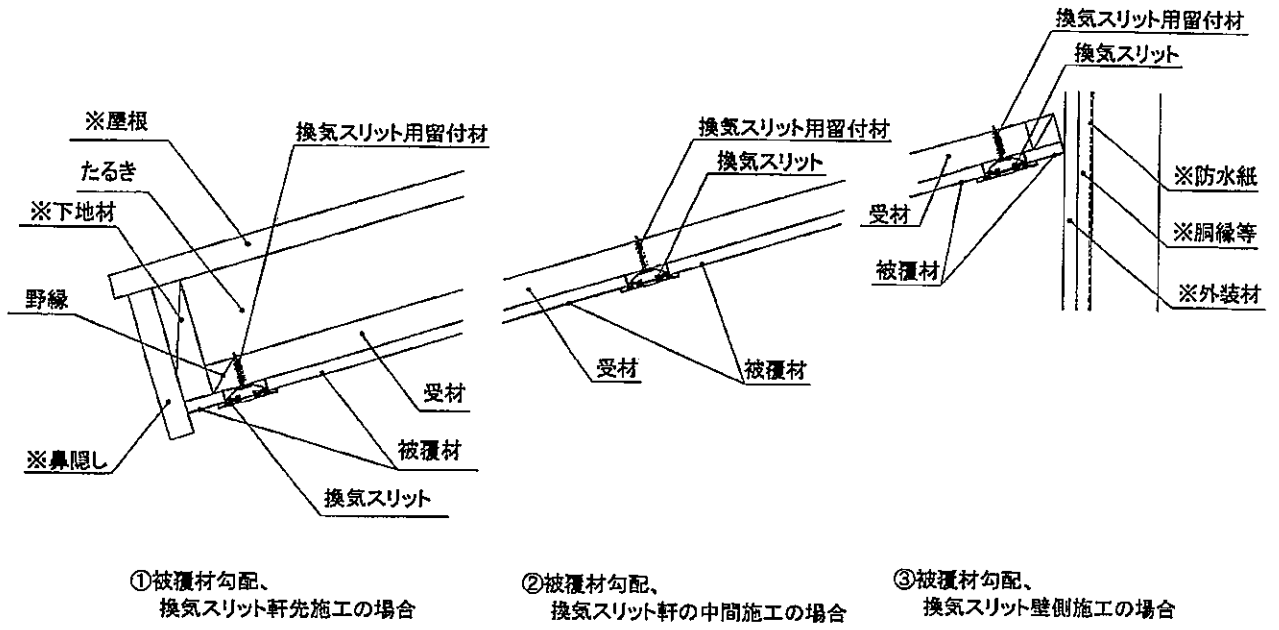


④被覆材水平、被覆材勝ちの場合

※:評価対象外

軒元の納まり図

図5 構造説明図

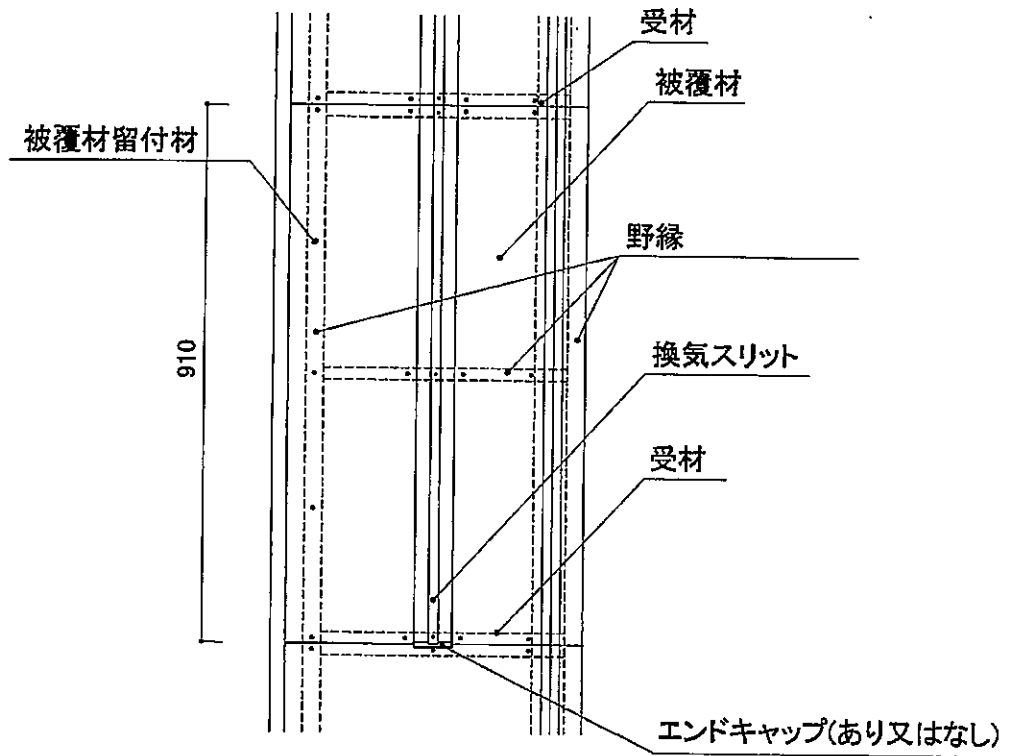


※:評価対象外

換気スリットの納まり例

図6 構造説明図

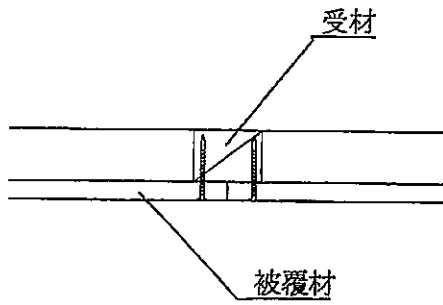
単位 mm



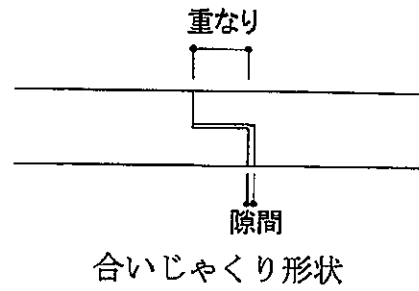
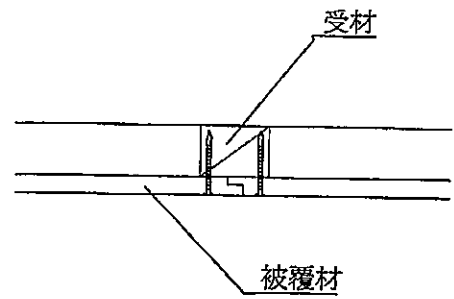
被覆材が455幅以上の場合の留付例:910幅製品の場合

図7 構造説明図

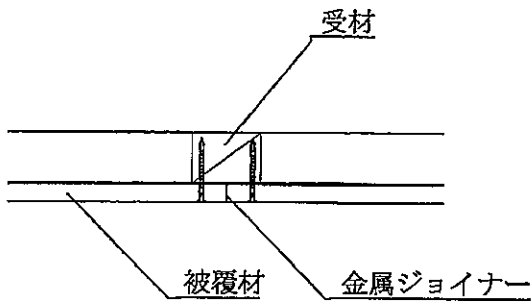
①突付け目地



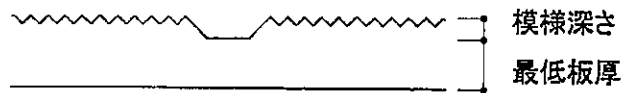
②本実・合いじゃくり目地



③金属ジョイナー目地



被覆材の目地処理(目地部材)



被覆材断面形状

図9 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図10～図13に示す。

施工方法は以下の手順で行う。

(1) たるきの取付け

屋根材にたるきを取付け、たるきに下地材を取付ける。

(2) 野縁の取付け

1) 軒の出(被覆材長さ)が500mm以下の場合は、野縁を軒の出方向及び軒の幅方向に配置し、取付間隔が500mm以下となるよう、野縁固定用留付材を用いて下地材、たるきを取付ける。

2) 軒の出が500mm以上の場合は、必要に応じて吊り木を設け、1)と同様の方法で取付ける。

(3) 被覆材の取付け

1) 被覆材は、被覆材固定用留付材を用いて野縁に取付け、取付方法は並行組又は梯子組とする。

2) 目地仕様は、突付け、金属ジョイナー又は本実・合いじゃくりとし、合いじゃくり部の目透かし幅は3mm以下とし、重ね代は9mm以上とする。

3) 被覆材と外装材は壁勝ち又は軒勝ちとし、必要に応じて金属製小口見切り又はシーリング材等でおさめる。

(4) 換気スリットの取付け

換気スリットは、換気スリット固定用留付材を用いて野縁及び受材に取付ける。

被覆材勾配、野縁梯子組
軒の出が500mm以下の場合

(単位:mm)

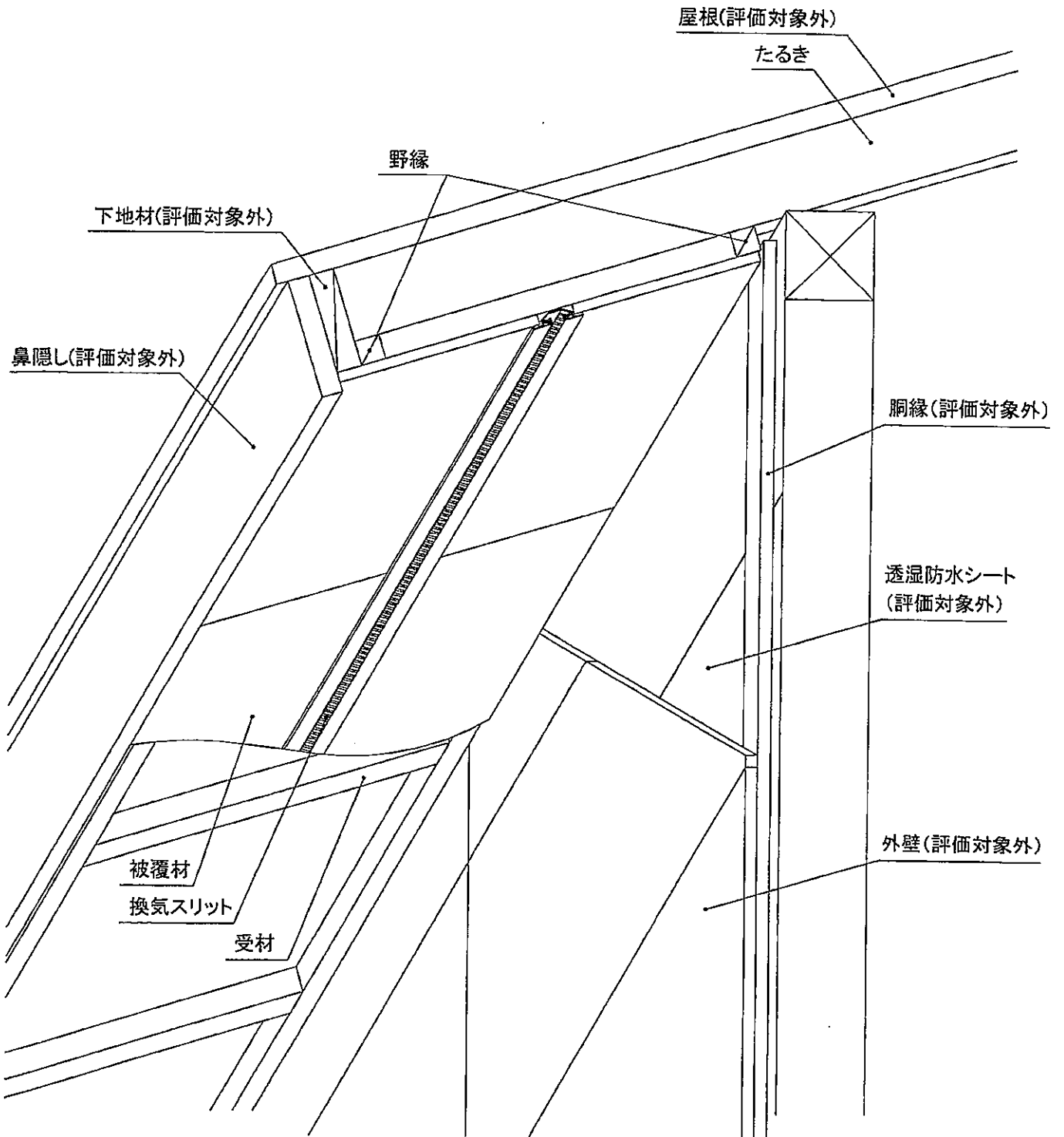


図10 施工図

被覆材勾配、野縁梯子組
軒の出が500~1000mm以下の場合

(単位:mm)

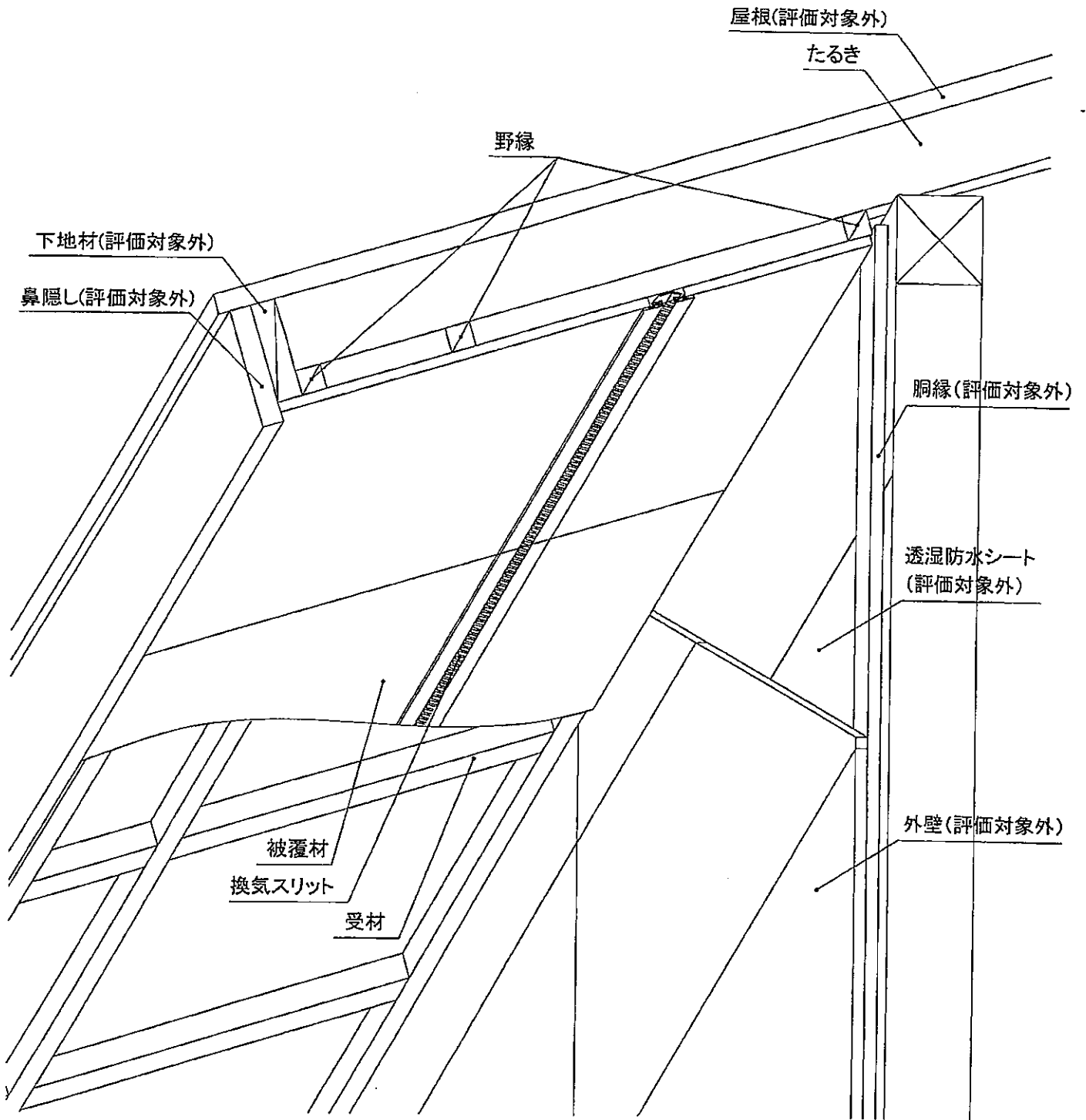


図11 施工図

被覆材水平、野縁梯子組
軒の出が500mm以下の場合

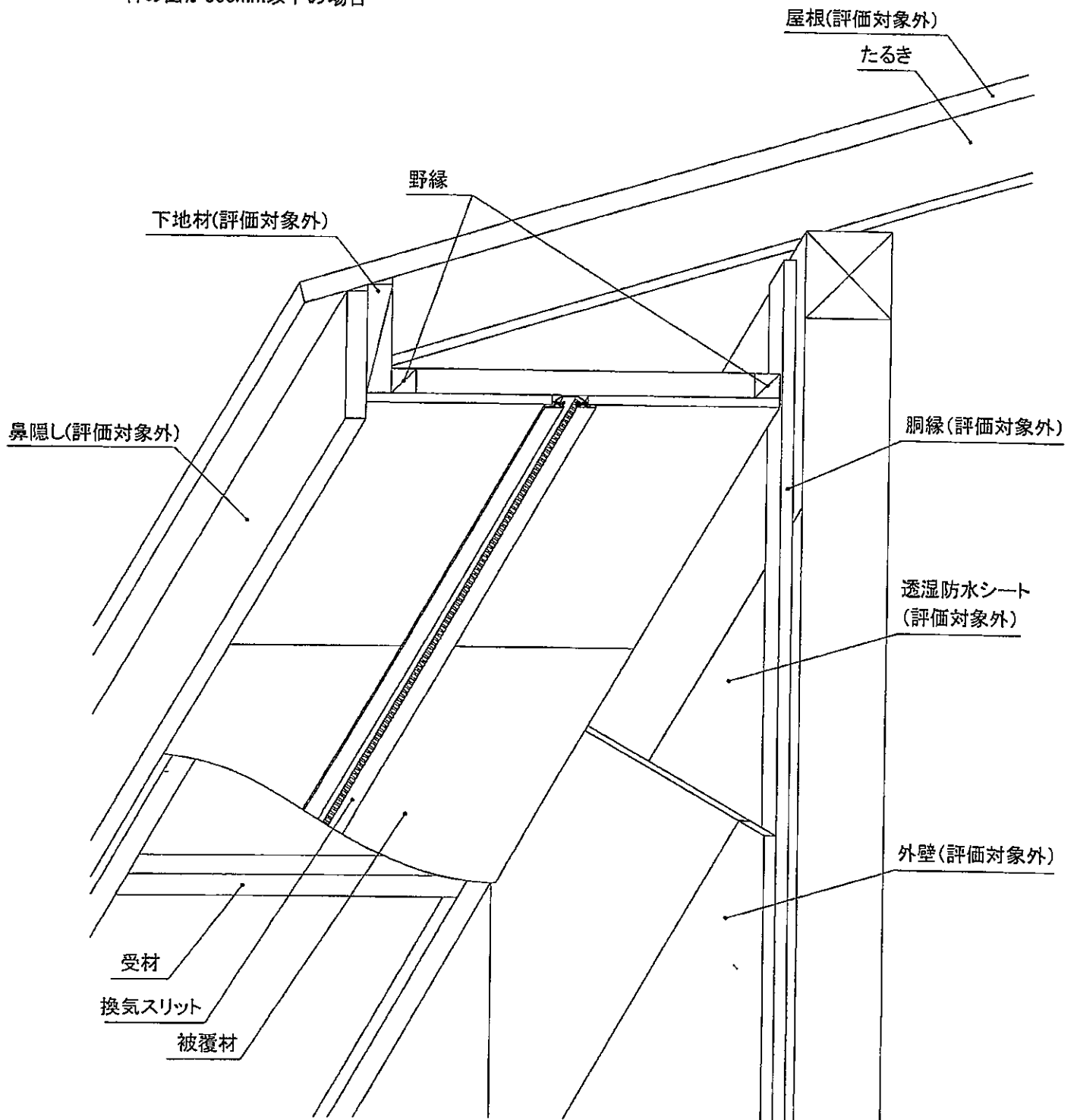


図12 施工図

被覆材水平、野縁梯子組
軒の出が500~1000mm以下の場合

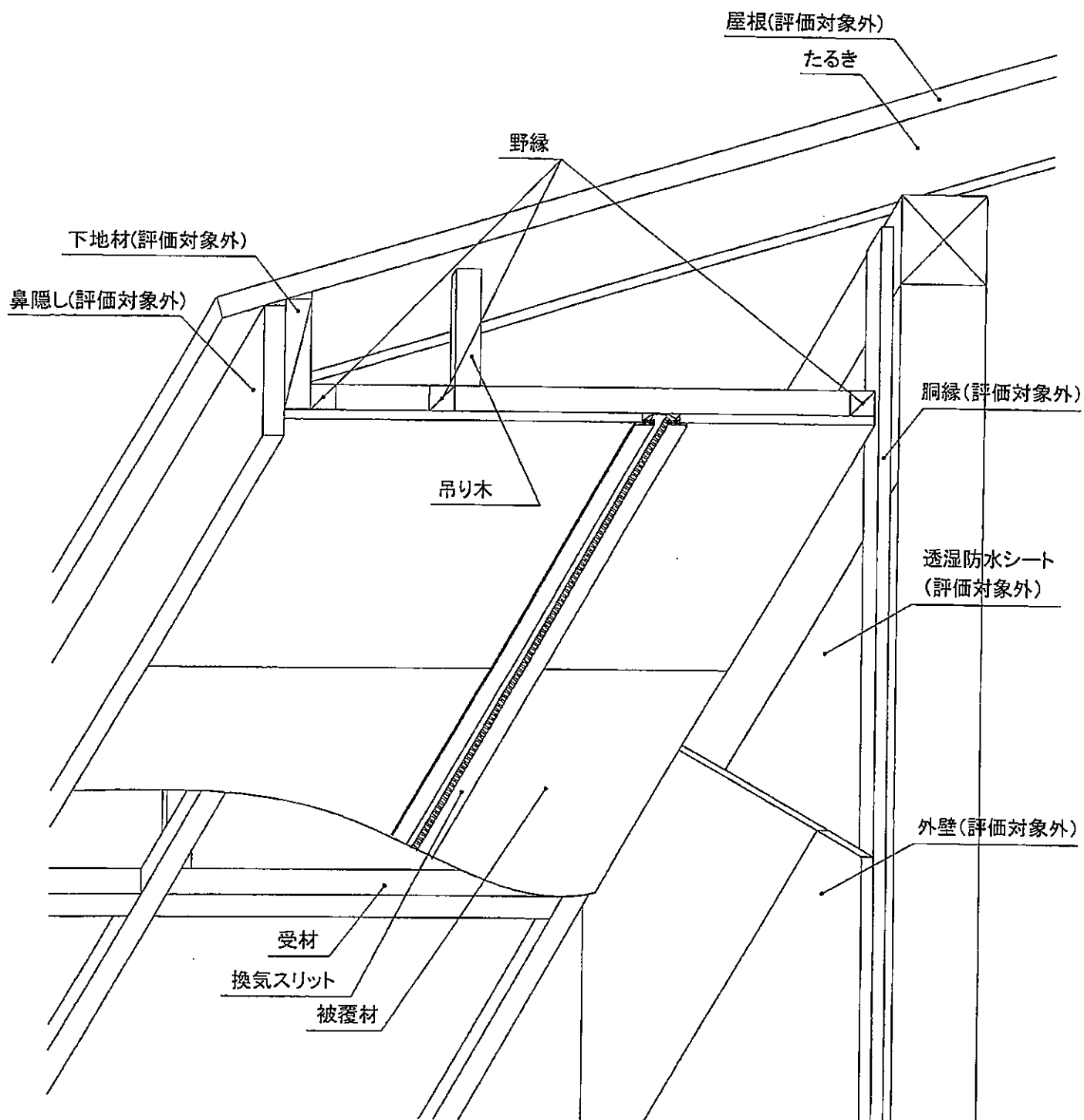


図13 施工図